

報道関係各位

「Tokyo Midtown Award 2013」ニュースレター第 2 号

次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援する、東京ミッドタウンの取り組みをお届けします！

いよいよアートコンペ募集開始！本年度は受賞者支援をさらに強化**5 月 16 日(木)～6 月 6 日(木)必着**

今年も「都市」をテーマにアート作品を募集します！

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、街のコンセプトである「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す一環として、毎年、アートコンペとデザインコンペからなる「Tokyo Midtown Award」を開催しています。過去 5 回の開催で、延べ応募者数約 6 千組の中から、アートコンペでは 21 組、デザインコンペでは 45 組の受賞者が生まれ、活躍の場を広げています。

本ニュースレターでは、5 月 16 日(木)から始まるアートコンペの概要や審査員のコメント、そして今後の「Tokyo Midtown Award 2013」のスケジュールをご紹介します。

<目次>

1. 「Tokyo Midtown Award 2013」アートコンペ募集開始！5 月 16 日(木)～6 月 6 日(木)必着
2. アートコンペ審査員のコメント
3. 今後のスケジュール (アートコンペ・デザインコンペの審査の流れ)

1. 「Tokyo Midtown Award 2013」アートコンペ募集開始！ 5 月 16 日(木)～6 月 6 日(木)必着

5 月 16 日(木)から、いよいよアートコンペの募集が開始されます。今年のテーマは昨年に引き続き「都市」。多くの人が様々な目的で行きかう、東京ミッドタウンを代表するパブリックスペースの 1 つ、プラザ B1F を展示場所として、「都市」をテーマにアート作品を募集します。展示場所を昨年から大幅に拡大。プラザ B1F 全体を使うことで、より注目が集まります。

アートコンペでは、受賞者にさらなる活躍の場をご提供できるよう、回を重ねるごとにコンペティション後の支援を強化しています。今年すでに決定している施策としては賞金の他、グランプリ受賞者には海外アートプログラムへの参加、そして受賞者全員には、作品発表の機会として、東京ミッドタウンが開催するイベント内で作品を展示する「ストリートミュージアム」(2014 年初春予定)へ参加いただく予定です。

<アートコンペ 賞金・受賞者支援策の詳細>

●賞金 グランプリ(1 点)100 万円、準グランプリ(1 点)50 万円、優秀賞(4 点)10 万円

※「入選」を本年から「優秀賞」とし、賞金 10 万円を授与します。

※入賞者には別途制作補助金 100 万円を支給します。

●海外アートプログラムへの参加

グランプリ受賞者は University of Hawaii のアートプログラム「Intersections」へ参加いただきます。実際にハワイに滞在し、現地大学のプログラムなどを体験いただける、またとない機会です。

●発表機会の提供

各受賞者には、プラザ B1F での受賞作品の展示の他に、東京ミッドタウンが開催するイベント内で作品を展示する「ストリートミュージアム」(2014 年初春予定)への参加の機会を提供予定です。

※詳細はオフィシャルサイト(<http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>)をご参照ください。

2. <アートコンペ> 審査員からのコメント



児島やよい

(フリーランス・キュレーター／ライター／慶応義塾大学、明治学院大学非常勤講師)

ショーウィンドウから外に出たことで、作品提案の可能性が広がり、前回は、立体・平面とも意欲的な提案が多く集まりました。今年はさらに、ミッドタウンの街中へと、展示場所が展開します。おもしろさ、難しさ、キャパシティと制約、すべて倍増です。「都市」というテーマを考えるのに、これほどやりがいのあるアートコンペはないのでは？場所を良く見て、あなたのやりたいことをみつめて、ぜひ、チャレンジングな提案を！今までにない作品に出会えることを、楽しみにしています。



清水敏男

(東京ミッドタウン・アートワークディレクター／学習院女子大学教授)

東京ミッドタウンのアートアワードはおそらく世界でもっともチャレンジングなアートコンペです。パブリックスペースに設置される作品のアイデアを競い、合格すればそれを実現するチャンスを与えられます。しかしパブリックスペースでは作品のクオリティ、安全性、耐久性などに高い基準が求められ、挑戦者はそれをクリアしていかななくてはなりません。これまでの入選者はアワード以降、日本で、世界で活躍しています。ぜひチャレンジしてください。

Photo by Herbie Yamaguchi



土屋公雄

(彫刻家／愛知県立芸術大学大学院教授／武蔵野美術大学客員教授)

大都市東京は他に類を見ないほど複雑で流動的且つ個性的な都市です。さらにその都市空間にアートという手法で変化を与え、都市の内部を刺激的で魅力ある空間に変貌させることは、このアワードの主旨の一つでもあります。今年のアワードでは、作品展示場所がメトロアベニューからプラザB1Fへ移動し、これまで以上に商業施設に囲まれたパブリック性の強い環境となりました。参加者の皆さんは、それぞれが独自のアプローチによって場と交差しながら、新たな表現を創造してください。



中山ダイスケ

(アーティスト／東北芸術工科大学情報デザイン学科教授)

ミッドタウンアワードのレベルが年々高くなっている理由は「街」です。アーティストが日常的に接する真っ白なギャラリー空間には、ある種の魔法がかかっている、その中に置けば、とりあえずアート作品という味わいを生みます。ミッドタウンアワードでは、街そのものがギャラリーです。どんなメディアであれ、根本的な見せ方の変換と技術が求められます。他の作家との勝負を楽しむのと同時に、自分の中のアート観とも闘ってみてください。

Photo by Miura Haruko



八谷和彦

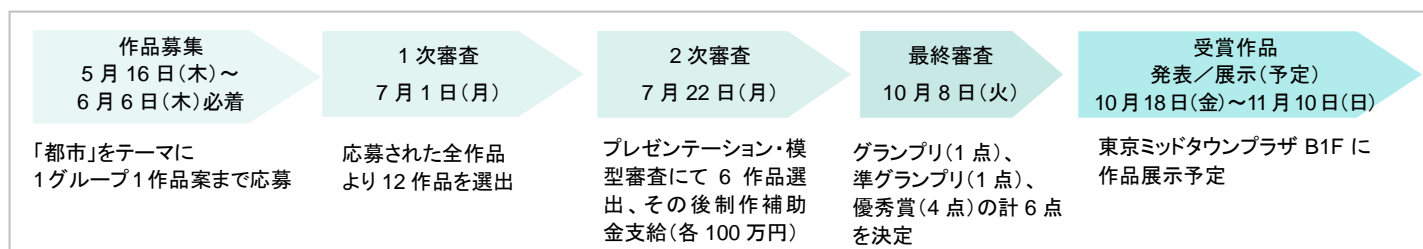
(メディア・アーティスト／東京藝術大学先端芸術表現科准教授)

毎年、数多くの応募作を拝見するのですが、年々応募作のレベルも上がっているように感じます。これはおそらく、応募者も展示場所の性格がわかってきて、どんな展示方法だと効果的か、とか、公共空間に展示する際の安全性確保も必要、などTokyo Midtown Awardの独自性をきちんと理解されてきたからだと思います。そういう点では審査する側として非常にありがたいと感じるのですが、一方でいままであまり受賞していないタイプの作品も見たいな、とか贅沢なことと思うわけです。例えば平面作品とかメディアアートとか・・・。

Photo by 米倉祐貴

3. 今後のスケジュール(アートコンペ・デザインコンペの審査の流れ)

<アートコンペ>審査の流れ



アートコンペでは、6月6日(木)に応募を締め切り、1次審査で12作品を選出。2次審査では、応募者による公開プレゼンテーション及び模型審査を行い、最終審査に進む6作品を決定します。各審査には、アートコンペ審査員5名全員が参加します。入選作品を選ぶだけでなく、結果的に落選となってしまう応募者にも、よりよい作品への「ヒントを与える」審査であり、「Tokyo Midtown Award」が「育成型コンペ」たる所以とも言える審査会です。

2次審査は、ウェブでお申し込みいただいた一般の方もご見学いただけるほか、報道関係者の皆様にも公開いたします。

「Tokyo Midtown Award 2013」デザインコンペについて

同時開催のデザインコンペでは、「まん中」をテーマに、7月1日(月)から作品の募集を開始します。書類審査の後、10月18日(金)(予定)に受賞作品8点を発表します。書類審査は報道関係者の皆様に公開させていただきます。

★デザインコンペの説明会を行います。

結果発表・展示までのプロセスの説明、応募用紙の記載のコツなどをご案内します。

日時:5月22日(水)19:00～20:00/6月22日(土)14:00～15:00/7月20日(土)14:00～15:00

会場:東京ミッドタウン・デザインハブ内 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

(事前登録不要、参加無料)

<デザインコンペ>審査の流れ

